

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第222号	
事故等名	運航阻害	
発生日時	平成22年12月13日 13時55分ごろ	
発生場所	島根県隠岐諸島南方沖 島根県知夫村知夫里島灯台から真方位159° 10.6海里付近 (概位 北緯35° 50.0' 東経133° 08.0')	
事故等調査の経過	平成22年12月15日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 自動車渡船 ^{ほうえい}宝栄、19トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 272-21363島根、有限会社勝部商事</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 右舷船尾支柱にペイント剥離、積載していたトラック1台流出</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、作業員1人を乗せ、車両4台を積載し、船首約0.50m、船尾約2.16mの喫水で隠岐諸島南方沖を対地速力約14ノット(kn)で手動操舵により南進中、平成22年12月13日13時55分ごろ、隆起した波浪を左舷船首方から受け、甲板最後部に積載していた2t積みトラック1台が流出した。</p> <p>流出したトラックには、ドラム缶3本（現像液等入り2本、空1本）、段ボール箱66個（使用済みガーゼ等の医療廃棄物入り）及びプラスチックケース21個（注射器等の医療廃棄物入り）が積まれており、のちにプラスチックケース1個のみが回収された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 霧、風向 北東、風力 2、視程 約200m</p> <p>海象：波高 約1.5m、うねり 約1m</p>	
その他の事項	<p>本船は、本インシデント当時、波浪状況により、減速していた。</p> <p>流出したトラックは、車止め8個及び直径約6mmのワイヤー3本によって固定されていたが、本インシデント後、ワイヤーが切断しているのが確認された。</p> <p>残り3台の車両には、損傷がなかった。</p> <p>本船の通常の速力は、約24knであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、知夫里島灯台南南東方沖を南進中、波浪を左舷船首方から受けたことから、甲板最後部に積載していたトラックを固定するワイヤーが切断し、同トラックが流出したものと考えられる。</p> <p>本船は、波浪状況により、減速していたものと</p>

	考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、知夫里島灯台南南東方沖を南進中、波浪を左舷船首方から受けた際、甲板最後部に積載していたトラックを固定するワイヤーが切断したため、同トラックが流出したことにより発生したものと考えられる。